



HIROO  
GAKUEN

# iPad 活用

ガイドライン 2012 (中学 1 年本科生徒対象)



広尾学園 中学校  
高等学校

HIROO GAKUEN Junior & Senior High School



# iPad 活用 ガイドライン 2012

## はじめに



### この冊子の目的

この冊子は「デジタルネイティブ世代にふさわしい環境と機会を」という考えのもとで進めてきた ICT 教育の取り組みを、さらに円滑に、かつリスクを避けながら発展させるために作成しました。

iPad という高品質の情報機器と、Google Apps という高機能のサービスを柱に、ICT 活用のメリットを最大化し、一方にあるリスクを回避するための冊子です。

### 学園生活すべての場面で

学園での iPad の使い方ですが、私たちは 2012 年度の中学本科 1 年生（204 名）全員に導入するにあたっての準備段階から、あくまでも「学び・研究・学園生活の道具」としての活用を考えてきました。

「iPad のための授業」をつくり出すことだけに汲々とするのではなく、もっと幅広い「授業や研究活動、そして学園生活のあらゆる場面で各生徒の目標のために iPad を必要に応じて使う」というスタンスを維持してきました。

### 先行した医進・サイエンスコース

そのスタンスで、徹底して先行モデルを提示してくれたのが、高校に新設された医進・サイエンスコースの先生と生徒たちでした。彼らの目標は「世界の誰も（もちろん研究者も）知らないことを研究して解明する」ことにあります。そのために、まず世界の研究の到達点を知らなければなりません。高校 1 年入学後、生徒はすぐに学術論文をリサーチすること、自分たちで英語の学術論文を読むことを始めます。そこで iPad の活躍が始まります。彼らの研究活動は、これまでの高校の理科教育の常識を、さらには今までの ICT 教育の常識を塗り替えてしまうものになると考えられます。

このコースを訪れるたくさんの医師や研究者や先端企業

の方々「大学院生でもここまでは…」と評価してくれるのがその何よりの証明だと考えています。

### そしてインターナショナルコースの実績

そういった実績の上に、早い段階から可能性をどんどん広げたいという思いで中学 1 年本科生の導入が決まりました。中学 1 年生からの導入ということで少し驚かれることもあったのですが、その決定の背景には、すでに 6 年間に渡って、中学 1 年生から 1 人 1 台の Macbook Pro を持つ学園生活をつくりあげてきたインターナショナルコースの存在があります。どこにもない理想的なインターナショナルコースをという先生たちの意気込みが、1 人 1 台の情報機器という体制を、自然で当たり前の環境にしてくれていました。

### リスクを避けながら

そういった恵まれた環境の中での iPad 導入だったのですが、活用は始まったばかりです。すでに出された「答え」がないからこそ可能性は無量大です。その一方で、リスクは可能な限り避けながら、無理をせず、段階的に可能性を広げて行きたいと思います。リスクを避けながら、可能性を追求する一助になればと制作されたのがこの活用ガイドラインです。

### アナログと感性がより重要に

最後にもう一つ。iPad の本格的導入で、本校の取り組みは先進的と言われたりしますが、この分野 (ICT 教育) を先へ進めれば進めるほど、別のものが見えてきました。それはアナログ的なものの大切さです。行き着く先は「感性」の世界になると思います。もし、ここまで ICT の世界を突き進めてこなかったら、こういう気づきは持てなかったと思います。突き進んできたからこそ見えたものが、真逆 (アナログ) の世界でした。ICT 教育を進めるほどに、アナログの分野、そして生徒たちの「感性」、さらには生徒が自分自身の「感じる力」を第一に信じていることが出来るような教育をと考えております。

ICT 教育責任者 金子 暁

## 中学1年本科生徒ルール 校内でのファーストステップ

※中学1年本科生徒を対象とした基本ルールと段階的なルールになります。



### 1. iPad 使用の基本

iPad は授業および授業以外での学習活動やプレゼンテーション、研究活動、校内での先生たちとの情報共有をはじめ、学園生活すべての質を高めるために使用するものとします。

広尾学園では、iPad は生徒が学んだり、研究活動を行うための道具として、また生徒の手もとにいつもある強力な武器として位置づけています。従来の筆記用具やノートなどと併用しながら、自分の学習や研究活動にとって最適な使い方を各人で模索してください。そこに出来上がった答えはありません。

#### ①iPad を忘れないで

iPad は特に指示がない限り、学園生活の中で常に活用出来るように持参してください。

#### ②iPad は教材であり文房具です

iPad は教科書やノートと同じ学習の道具として使ってください。先生たちの「教科書を開いて」「ノートを閉じて」と

いった指示と同じように iPad も扱ってください。

### 2. Google Apps 及び Gmail の使用について

#### ①学習や研究活動のためです

Google Apps のアカウントは学習や研究活動のためにのみ使用出来ます。

#### ②アカウント、パスワードは自己責任で

Google Apps のアカウントとパスワードは全面的に自己管理となり、そこで発生した問題は生徒本人の責任になります。各種サイトでのアカウント（メールアドレス）等の登録は禁止です。

#### ③違法行為

生徒は自分のアカウントにのみアクセス可能で、他の人のアカウントにアクセスすることは許されません。他の人のアカウントやパスワードを使用することは違法行為になります。

#### ④言葉の配慮

Gmail 上では、常に適切な言葉遣いと受信者の気持ちにまで配慮した丁寧な対応を心がける必要があります。

#### ⑤万一の場合は

いかなる場合でも、乱暴な言葉や威圧的な言葉は許されません。そういった Gmail を受け取った生徒はすみやかに担任や学年の先生、Google Apps 管理運営者に知らせてください。

#### ⑥ファーストステップ Gmail の利用 -1

ファーストステップでは、Gmail は学習活動、研究活動のために活用してください。



## ⑦ファーストステップ Gmail の利用 -2

ファーストステップでは、Gmail の利用は担任の先生または教科担当の先生の指示に従ってください。生徒同士で Gmail のやりとりをする場合は、担任の先生か教科担当の先生を宛先に入れる必要があります。

## ⑧チェーンメール

いかなる場合でも、チェーンレター（チェーンメール）は厳禁です。

☆校内における Google Apps の利用は学園の Google Apps 担当者が管理運営しています。無断での変更や不正行為などは自動的に管理運営者に通知されるシステムです。また、場合によってはメール内容を Google Apps 担当者及び学年責任者の先生がチェックすることも可能です。ルールが守れない場合は、アカウントの使用を禁止する場合があります。



## 3. iPad& インターネット使用 のガイドライン

### ①学園活動に必要なことにのみ

校内での iPad とインターネットは学園活動に必要なことにのみ使用出来ます。

### ②設定を変えないこと

iPad はすべて学園生活向けに設定されています。この設定を変えたり、インターネットを通じてアプリやゲームをインストールしたりすることは許されません。

### ③インターネットサービスの活用

youtube などの動画サイトやブログ、SNS などの活用は、学習活動や研究活動において担当の先生の許可を受けている場合にのみ可能です。

### ④倫理に反する場合は

③の場合でも、学園での倫理的な常識に反する投稿は許されません。

## 4. インターネットに関する 一般的理解のために

インターネットは世界中の人々に開かれています。このことは大きなメリットであると同時に、反対側のリスクも潜んでいることを知っておいてください。特に、インターネットを使った発信を行う場合に次のことに気をつけてください。

### ①情報保護の設定は大丈夫ですか？

自分のプロフィールや個人情報、写真を、誰が見ることが出来るようになっているか分かっていますか？限定公開やプライバシー保護などの設定が出来ていますか？

### ②その個人情報は安全ですか？

携帯番号や住所、年齢、氏名、所属校、これからの予定、メンバー表など、見た人がそれらをどう使う可能性があるか考えていますか。情報を見る人の誰もがあなたにとって善意の人というわけではありません。ほんのちょっとした書き込みでも安全が脅かされる危険性がともないます。



### ③その情報は将来にわたって あなたのマイナスになりませんか？

公開したプロフィールやコメントは、将来、あなたが何らかの評価を受ける時にプラスになることもあればマイナスになることもあります。大学入試、大学院入試、就職試験などで、もしくはこれから出会う友人たちや先輩、後輩たちにとって、その情報はプラスになるかマイナスになるか考える必要があります。

### ④発信した情報の削除は 実質的に不可能なことを知っていますか？

一度インターネット上にのった情報は、すぐに削除したとしても拡散することを止めることは出来ません。発信してしまったメールと同様、その情報を消すことは実質的に不可能です。

### ⑤その情報の許可は得ていますか？

誰かの写真や情報を発信内容に含む場合、相手の許可は得ていますか？そのことによって相手が傷ついたり、プライバシーを侵害したりした場合、あなたが、たとえ学校の生徒であっても名誉毀損などで訴えられることもあり得ます。

### ⑥スパイウェアやウイルス感染の危険を 知っていますか？

インターネット上には、あなたの iPad や PC の個人情報を読み取ったり、個人情報を不特定多数に送信させてしまうような仕組みを持ったサイトやメールが数多くあります。危険性を感じるようなサイトにはアクセスしないこと。安易なクリックをしないこと。よくわからないメールは開かないこと。便利さの裏側に潜むリスクを考えた慎重な対応を心がけましょう。



<参考資料>

『Dalton Academic Computing Policy』 Dalton School

『GUIDELINES FOR THE USE OF SOCIAL MEDIA』 UNIVERSITY OF MICHIGAN